

議会だより

かみぎおり

6月定例会号
No.134



▲山野里地区大酒のヤギとのふれあいの場

改選 新体制スタート!



円心くんとエイトちゃん

6月定例会

6月定例会は6月3日から10日までの8日間であった。6人の一般質問に続き、報告2件、専決案件の承認4件、ハイツあゆみの長寿命化工事契約等の議案7件を原案どおり可決した。また子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、2026年度政府予算に係る請願を採択、意見書を全会一致で可決し提出した。

なお、会期中の6月6日にピュアランド山の里が営業を一部再開した。

6月3日

みうらよしと

三浦義人 議員

- ★1. 町長の公約達成状況のお知らせについて
- 2. 町長の公約以外に達成されたものについて

たちばなてるひろ

立花照弘 議員

- ★1. 管理放棄・管理不十分不動産問題について
- ★2. ツリ山問題について

たぶちちひろ

田淵千洋 議員

- ★1. 人と動物の共生社会について
- ★2. 子育て支援について

★は記事にした質問（議員が執筆）

6月4日

よねだひろき

米田浩樹 議員

- ★1. 産廃阻止に向けた町の姿勢について
- ★2. これからもコウノトリに選ばれる町について
- ★3. 体育館へのエアコン設置について
- ★4. 避難所での女性への配慮について
- ★5. ジェンダー平等の上郡町への取組について
- ★6. ツリ山事件について

かわいまさひと

河井正人 議員

- ★1. 上郡町の農業を取り巻く環境について

いぐち

井口まさのり 議員

- ★1. 町長の政治姿勢について

一般質問は年に4回開催される定例会で行われ、臨時会では行われません。

一般質問の記事は質問者自らが執筆しています。各議員のQRコードで一般質問の動画がご覧になれます。



▶ 新たな町議会議員

Q 企業誘致の際に 優遇措置の説明は

A 担当課が対応している



三浦義人 議員

問 企業立地を応援するためにある上郡町企業立地優遇措置を、なぜ企業に説明をしないのか。

町長 この企業は、すでに新社屋建設が決まっており、そういう話にはならなかった。

問 この企業の責任者は「近郊に上郡よりもっと条件のいい誘いがあり、出て行こうと思ったが雇用している人が地元だから」と、上郡町に新社屋を建設した。

行政はこの企業に優遇措置の話をしていない。頼まれていた駐車場用地も使えるような土地を提案していない。町長、副町長は最初だけ会って後は担当課に振る、こういう対応では現存している企業も出て行ってしまう。まして新規の企業誘致は難しいのではないのか。

町長 駐車場用地も提案したが、相手側にいろんな条件がありマッチングしなかった。その後も電話等で会社の方にフォローしている。

引き込み線を利用した発着便の増発要望について

問 4年前に、5本の引き込み線を利用して電車が増便になる話をされていたが、実現していないのはなぜか。

町長 JRから、コロナ禍以降の経営状況の回復が進んでおらず難しい、と聞いている。すぐ使える状況の3本の引き込み線を活用しての増便を繰り返し要望している。

問 それより利用者の増が必要だ。通勤・通学定期や駐車料金への助成の考えはないのか。

町長 今はないが、車通勤の方に電車通勤に切り替えてもらうことが大事。バスの増便や接続を良くすることがJR利用増につながると考える。



▲引き込み線で待機中の上郡発の電車



Q ツリ山問題で 町民への説明責任は

A 時期、方法は検討する



立花照弘 議員

管理不十分な空き家・ 空き地対策について

問 昨年4月1日に施行された相続登記の義務化状況は。

税務課長 以前は年間200件ほどであったが、令和6年度では350件程度に増加している。

問 連絡先が分からない空き家や土地への対策は。

建設課長 一部の市町で管理責任者の住所や氏名を公表しているところもあるが、上郡町では公表していない。自治会や住民から苦情があった場合は、建設課で所有者の調査を行い「適正な管理のお願い」の文書を配布し管理責任の自覚を促している。

問 ツリ山問題のその後の経過は。

財政管理課長 ツリ山への不法投棄問題は、令和7年2月14日の判決で、町の請求がほぼ認められた。現在、1,000万円の不動産強制競売を申立てし、開始決定を受けている。



▲ツリ山の不法投棄（当時）

問 判決が出た今、全力で損害額の回収にあたるべきでは。

町長 担当者任せにせず、副町長、弁護士とも協議して回収に向けて全力で取り組む。

問 この事件に関する責任はどう考えるか。

町長 住民訴訟では訴えそのものが却下されたため、法的な責任は問われなかった。この件を知ってからきちんと対応してきたと思っている。

問 町民の関心も深く、町広報に乗せるだけでなく、えんしんネット等を活用して町長自らの説明が必要ではないか。

答 町民へのお知らせは、節目をみて時期や方法について検討したい。



Q 地域猫事業に対する町の支援を求める

A どういう支援ができるかを考える



田淵千洋 議員

問 地域猫活動に対する町の支援は。

住民課長 近隣市町では不妊去勢手術費用助成を実施する事例もある。地域の実情や予算の状況をふまえて、動物福祉や環境保全の観点から、政策導入の可能性を検討する。

問 実施するための財源に、クラウドファンディング型ふるさと納税を活用した基金を創設してはどうか。

町長 有効と思うが地域に活動団体が少ない。今は飼い主が最後まで面倒をみるということの啓発を続けたい。

問 災害時のペットの同行避難についての考えは。

住民課長 進んでいないため、協議していく。

問 本町ではホテル条例があり、今コウノトリとの共生社会をめざすというのであれば、人と動物が集えるやさしいまちとして愛護条例の制定は。

町長 まずは町民の意識を高める普及啓発に取り組む。



▲「さくら猫」
不妊去勢手術した地域猫

5歳児健診の導入を

問 国は発達障がい早期発見に向けた5歳児健診を進めているが、本町も早期導入すべきではないか。

健康福祉課長 現在、発達障がい児に対する支援体制の充実を目的に、幼児のびのび相談事業を実施している。国庫補助事業として令和10年度までの導入を目指す。

問 健診には専門医や心理士が必要になるが対応は。

健康福祉課長 健診医を養成する研修の機会を国が補助する。

問 健診の場は。

健康福祉課長 集団健診が国庫補助の対象となっている。



Q 3市町の産廃建設反対首長連絡会は

A 新備前市長も参加を表明した



米田浩樹 議員

問 備前市長が改選されたが。

町長 長崎新市長は「赤穂市、上郡町と足並みをそろえて反対する」と首長の会への参加を希望された。

住民課長 備前市役所で3市町の担当課が協議を行った。

問 コウノトリのヒナが3羽ともすくすく育っている。当町の自然の豊かさの証明だ。来年以降も選ばれるには。

生涯学習課長 必要以上に巣塔に近づかない、立入禁止場所に入らない、近隣住民に迷惑をかけないことが大事だ。



▲すくすく育つコウノトリのヒナ3羽（ふ化から約1か月）

問 体育館へのエアコン設置は。

教育推進課長 文科省も推進している。初期費用やランニングコスト、有利な財源を研究する。

問 避難所の仮設トイレは、男女が同じ場所にあると女性が使いにくい。離れた計画ができていないか。

住民課長 できていない。

問 計画を立てるメンバーに男女両方が必要だが。

住民課長 今は女性は一人だが役場の女性職員を加える。

ヅリ山事件を二度と起こさないための対策を問う

問 町外の議員二人が土地探しに来庁し、当時の副町長と担当でない課長が対応し「貸付できる」と応え、図面コピーを渡した事に間違いはないか。

財政管理課長 裁判記録にはそうなっている。

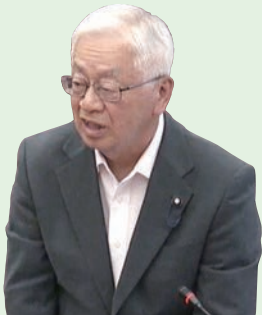
問 前町長はその課長から業者が産廃業者であること、途中で問題があったことを聞き、再契約するなどと言ったと証言している。このことは引継ぎされなかったのか。

町長 引き継がれていれば契約延長はしていない。今後は再発を防止する。



Q オーガニックビレッジ 宣言後の展開は

A こども園へ有機農産物の提供を開始



河井正人 議員

問 有機農業の展開状況は。

農林振興課長 講演会、先進地視察、イベント出店を実施。有機米に転換するための実証実験にも取り組む。本年度、秋から有機米をこども園3園に通年提供し、小中学校の学校給食は、2・3学期のうち10日間、有機米を試行提供する。今

後の取組は地元有機農産物を主原料にした特産品（加工品）の開発を進めていく。

問 離農者が増え、農業者数が激減しているが状況は。

農林振興課長 減少原因は、農業従事者の高齢化、後継者不足、収益性の低さ、労働負担の重さ、ライフスタイルの変化などが複合的に絡み合っている。

問 数字的には。

農林振興課長 農家総数は5年前より約130ほど減少し、販売農家も70人ほど減少している。

問 国の制度で農地の集約が進められているが、上郡町の集積率は。

農林振興課長 約64%で兵庫県下でも高い水準となっている。

問 農地保全、人口減少対策に、兼業農家を残すには。

農林振興課長 共同で農業機械を所有する集落営農組織づくりの支援、スマート農業の推進に力を入れる。

問 令和6年度に実施した※「地域計画」の現状は。

農林振興課長 対象地域46地区全てで作成済み。行政としてこれに対し、助言、アドバイザー派遣、伴走支援などを考えている。



▲有機農業講習会

※「地域計画」とは
地域の農業者が集まり、将来の農地利用や農業のあり方について話し合い、策定する計画。公表されることになっている。



Q 住民投票は 無意味だったのか

A 現在許認可について進展はない



井口まさのり 議員

問 進展がないわけがない。行政が知らないだけで県との協議は進んでいる。

町長 県からは進展がないと聞いている。許可申請が出せないのは状態が止まっているということ。

問 なにも止まっていない。条例に向けて事業者は県と一つづつ問題をクリアして

いる。報告は受けてないのか。

町長 保安林解除に手こずっていると聞いている。

問 いつの話をしているのか？保安林解除は6年前の話で現状を把握できてないのではないのか。

町長 井口議員は業者と繋がっているが、私は全く繋がりがわからないから知らない。

問 県からも事業者からも情報を得ようとせず、本気で反対する気はあるのか。

町長 行政が情報を得るのは事業者ではなく県からと考えている。

問 その県からも情報が入っていないから質問している。調べもしない、反対する動きもない、住民投票に何の意味があったのか。住民の意識も変わってきているのではないのか。

町長 断固反対だ。

避難所のエアコン設置について

問 在任中の4年間、避難所のエアコン設置がされていない。費用がかかるなら剣道場、柔道場等小さな部屋からでも構わないので次期町長にも引き継いでほしい。

町長 エアコン設置は重要だ。現在協議中である。



▲指定避難所に指定されているスポーツセンター



私はココを指摘しました



米田浩樹 議員

補正予算・システム改修委託料について

問 委託料211万円のうち135万円は一般財源(町負担)からの持ち出しだ。コンピューターのシステムは一旦導入すると変更しにくく、言われるままのお金が必要になる。国の都合での変更なら、全額国に負担してもらいたい。その要望はしているのか。

答 特殊な財政事情である。国へ要望して頂きたいと財政当局と協議したい。

旧山野里幼稚園他解体工事

問 駐車場整備後には山沿いの道の交通量増加が予想される。交通安全対策は。

答 カーブミラーの設置等、必要な措置を行う。



井口まさのり 議員

町営住宅(ハイツあゆみA棟)長寿命化工事について

問 長寿命化計画のもとに多大な予算を使って実施されるが、現計画の工事にとどまらず、施工中に発見した不具合への対応はどうするのか。

答 監理業者とも綿密に協議し、抜かりなく補修を行う。

創業支援補助金補正

問 創業塾を受講して、町内で開業される方に50万円が補助されるが、交付済の方は今も活躍されているのか、有効な補助金となっているのか実績を問う。

答 様々な業種で実績がある。詳細は、改めて報告する。



松本じゅんいち 議員

町営住宅(ハイツあゆみA棟)長寿命化工事について

問 工事項目に集会場の瓦屋根高圧洗浄がある。民間宅では瓦屋根を洗浄することはまずない。工事費削減のためにも、工事現場の実態を常に精査されたい。

答 工事の現場は事前に調査した。今後も現場実態を十分確認し、経費がかからない施工を考えていく。

水道事業会計の予算繰越について

問 管の埋設位置の確認に手間取り、施工を翌年度に持ち越したというが、日常的に慌てない管理体制が必要では。

答 工事は現存図を元に施工する。今後は事前調査も視野に入れ着手したい。

上郡町の有機農業が注目されています

～ 高萩市議会が上郡町に ～

5月14日、茨城県高萩市議会の総務産業委員会が、上郡町のスマート農業と有機農業について視察に来られました。農林振興課がそれぞれの具体的な取組や効果を説明した後、意見交換を行いました。太平洋に面しながら山の自然に恵まれたまちで、スマート農業を展開し始めたところで、熱心な質問がありました。議会は、町が推進する有機農業、スマート農業を後押ししていきます。



令和7年第4回議会(第518回 定例会)

会期:令和7年6月3日~10日

全会一致可決の案件		備考	議決日
1	子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、2026年度政府予算に係る意見書採択の請願について	請願第1号	6/3
2	上郡町税条例の一部を改正する条例制定の件	議案第37号	6/5
3	上郡町福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定の件	議案第38号	6/5
4	上郡町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	議案第39号	6/5
5	上郡町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	議案第40号	6/5
6	令和7年度上郡町一般会計補正予算の件	議案第41号	6/10
7	工事請負契約締結の件(町営住宅(ハイツあゆみA棟)改修工事)	議案第42号	6/10
8	工事請負契約締結の件(旧山野里幼稚園・山野里小学校プール解体撤去工事)	議案第43号	6/10
9	子どものゆたかな学びと育ちを保障するための、2026年度政府予算に係る意見書	発議第1号	6/10

報告・承認等簡易表決による可決(6議案)

- ①令和6年度上郡町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告の件
- ②令和6年度上郡町水道事業会計予算繰越報告の件
- ③専決処分したものにつき承認を求める件(上郡町税条例の一部を改正する条例制定)
- ④専決処分したものにつき承認を求める件(上郡町都市計画税条例の一部を改正する条例制定)
- ⑤専決処分したものにつき承認を求める件(上郡町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定)
- ⑥専決処分したものにつき承認を求める件(上郡町企業立地等を重点的に促進すべき区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定)

令和7年度主な予算の補正(6月定例会)

(千円以下は四捨五入)

会計名	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	1,418万円	87億9,526万円	(歳入) ○企業版ふるさと応援寄附金、財政調整基金繰入金増 (歳出) ○企業版ふるさと納税活用事業、システム改修委託料増

令和7年第5回議会(第519回 臨時会)

会期:令和7年7月24日

全会一致可決の案件		備考	議決日
1	上郡町監査委員の選任につき同意を求める件	同意第3号	7/24
2	広報特別委員会の設置及び委員の選任について	発議第2号	7/24

報告・承認等簡易表決による可決

専決処分したものにつき承認を求める件(令和7年度上郡町一般会計補正予算の件)

議会活動報告

3月~5月

議会定例会・臨時会、議会運営委員会(3回)、総務文教常任委員会(2回)、民生建設常任委員会(2回)、広報特別委員会(5回)、全員協議会(6回)、月例出納検査(3回)、安室ダム水道用水供給企業団議会、全国町村議会議長・副議長研修会、兵庫県町議会議長会定期総会・臨時総会、西播磨市町議会議長会総会、上郡町合併70周年記念式典、茨城県高萩市議会行政視察受入、消防出初式、東備西播定住自立圏推進協議会及び監査、東備西播定住自立圏JR利用促進協議会幹事会、備前市市制施行20周年記念式典、銘水会総会、小学校入学式・卒業証書授与式・体育大会、播磨高原東小学校入学式・卒業証書授与式、上郡中学校卒業証書授与式、播磨高原東中学校入学式・卒業証書授与式、上郡高校入学式・卒業証書授与式、高齢者大学千種川学園開・閉講式、かみごおり川まつり全体会、B&G海洋センターリニューアルオープン式典、上郡町連合自治会定期総会、上郡町身体障害者福祉協議会総会、上郡町商工会通常総代会、上郡町手をつなぐ育成会総会、(公社)相生・上郡広域シルバー人材センター定期総会、いざか祭

常 任 委 員 会 報 告

総務文教常任委員会

令和7年5月12日

継続審査案件 中期財政計画について

【財政管理課より】

今後の財政運営や予算編成の目標・指針とするため、中期財政計画(令和7年度から11年度まで)を策定した。ただし、令和6年11月に策定しているので、現時点では異なる所もある。

<歳入>

- 町税は人口推移、固定資産の評価替えを考慮すると、24億円から22億円に減収する見込みである。
- ※財政調整基金は、令和7年度は過年度分の交付税修正(1.2億円の減額)分、令和11年度は上郡中学校の長寿命化事業の財源(5,300万円)を繰り入れる予定である。
 - ※町の貯金のようなもの
- 令和7年度の防災行政無線の整備事業、令和11年度の上郡中学校の長寿命化事業のため地方債を発行する予定。

<歳出>

- 扶助費は少子化により児童手当給付金や認定こども園経費の減少により減額する見込み。
- 人件費は、定年延長制度の影響で徐々に増額する見込み。

<財政健全化>

- 令和11年度の町債残高は86億2,000万円となり、令和7年度末と比較すると5億2,400万円の減少見込み。
- 今後の財政健全化比率については、防災行政無線などの大型事業の実施により途中上昇する年度はあるが、緩やかに改善していく推計となっている。



▲防災行政無線の整備風景

問 財源がない中で、財政運営をしていくことになるのか。

答 ふるさと納税は貴重な財源なので増やしていきたい。プライマリーバランス(基礎的財政収支)は常に考慮している。各課へ財源の確保に努めるよう指示している。

問 各施設が老朽化しているが、どのように修繕をするのか。

答 公益施設管理運営基金を運用して、修繕費にする。

意見 重要な財源であるふるさと納税は、起債と違ってコントロールすることが難しい。ぜひ、魅力ある返礼品を考え、寄付額増に取り組んでほしい。

その他の報告案件

【財政管理課】

- 公有財産の現状と課題を明確にして利活用の推進のため、上郡町公有財産適正管理基本方針を策定。
- 法令の改正で随意契約の基準額が見直された。

問 閉校された学校園の跡地についての動きは。

答 民間企業が運営しているホームページサイトにも公表し、売却についても打診している。

【教育推進課】

- 全小学校の3～6年生と中学生の大阪・関西万博への参加は5月9日までに全て完了した。
- 中学校部活動の地域移行：本年度は実証事業と指導員配置事業に取り組む。実証事業はソフトテニス部（受け手は上郡ジュニアソフトテニスクラブ）で、指導員配置事業は科学部（元上郡中学校教諭の東山真也さんを指導員として任用）である。
- 旧山野里幼稚園と山野里小学校プールの解体工事：再度地元説明会を開催してから着工する。
- 有機給食：上郡こども園で昨年11月からひょうご安心ブランドの有機米を使用している。学校給食センターでは2学期に有機米の試験導入を予定している。



▲解体する山野里小学校プール

問 今、世間では一般のお米でも確保が難しい。有機米の確保ができるのか。

答 こども園の分は令和6年産のお米を確保している。物価高騰を鑑みて本年度中に学校給食費の見直しを予定している。

【生涯学習課】

- 郷土資料館特別展「日本の博覧会と大鳥圭介」を9月27日から11月30日まで開催。
- 山陽道野磨駅家跡後期駅家跡史跡公有化事業：今年度の予算は土地購入費、土地鑑定料、雑費を合わせ925万円である。

【企画広報課】

- 第6次総合計画及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を開始する。
- 船坂コミュニティセンターのセンター長は船坂地区連合自治会長に委嘱済み。運営委員会を5月2日に開催した。
- 令和7年度の町連合自治会活動委託料は昨年と同様に予算化している。

意見 第6次総合計画策定にあたっては、第5次の計画や現状をよく把握して、慎重に行ってほしい。



常 任 委 員 会 報 告

民生建設常任委員会

継続審査案件 1. 産業廃棄物処理施設建設計画の阻止について (5月13日)

【住民課より】

- 県水大気課、西播磨県民局環境課ともに報告できる話はないとのこと。

【農林振興課より】

- 4/30に論気谷管理道現地確認を行った結果、一部伐採及び敷きならしを行った箇所があったが、その他目立った変化はない。

問 この委員会で4年間取り組んでいるが、成果がない。関係者に聞いた話では随分進んでいるが、本当に阻止できるのか疑問だ。阻止に向けて何か進んでいるのか。

答 県民局からは、協議内容は公表できる段階ではないと聞く。阻止に向けては進んでいない。

問 「こういうやり方で阻止しましょう」と町民に発信すべきだ。保安林内に計画されている拡幅管理道を5年経ったら元に戻すよう県に要望に行ったと聞いたが、森林整備計画の延長を繰り返せば永遠に使える。もっと早く手を打つべきだった。なぜ専門家委員会を立ち上げなかったのか。

答 今は事前協議書への追加資料の提出指示に対する回答もまだ出しておらず、専門家会議の段階ではない。

- 意見**
1. 埋立地への進入路の計画変更に対して、町から意見が言えるのかを確認してほしい。
 2. 備前市の最終処分場が西有年・梨ヶ原計画地に隣接しており、山頂付近まで道路がついている。それを使えば簡単な工事で済む。備前市長とはそれをふまえた話をすべきだ。

継続審査案件 2. 有機農業の推進について【農林振興課】 (5月13日)

《これまでの取組》

- 講演会14回開催、先進地視察3回実施
- 京都、神戸などイベントに11回出展
- こども園に給食提供
- 町内量販店などに販売ブースを設置
- 有機農業推進協議会でひょうご安心ブランドの取得

《今後の予定》

- 小中学校の給食に有機米を計10日間試行提供
- 販路拡大に向け、5月に京都で開催される展示会等に出展する
- 推進協議会に広報部会を設ける

問 京都の有機農展示会への出品は。

答 実施日が1か月早まり、出せる作物が少ない。今のところ「みなし有機」の玉ねぎ、にんにく、しいたけ等を出品する。



ひょうご安心ブランドの野菜

【農林振興課】

有害獣捕獲用のリモートアップゲートを船坂地区に貸し出すことが決定。

問 移設費用が高い。補助できないか。

答 よく捕れているが、高額な移設費で断念したケースがある。移設費用は検討したい。



▲リモートアップゲート

【住民課】

一般廃棄物収集運搬業務での戸別収集3件を開始した。

問 委託料自体の値下げ交渉はしたのか。

答 4月に交渉をした。継続協議となった。

意見

委託をする場合は、経営内容を確認する仕組みを作る必要がある。担当課は次回(3年後)の契約に向けて十分な準備(調査)をすること。



【健康福祉課】

今秋、民生委員・児童委員及び民生・児童協力委員の一斉改選の予定。

問 任期は1期3年だが、2期6年が望ましいと聞く。どれぐらいの方が残るのか。

答 アンケートでは50人のうち21人の方が交代希望だ。

【地域振興課】 上郡ピュアランド山の里について

4月下旬にプレオープン計画だったが、厨房設備に不良箇所が見つかり、設計業者との調整及び消防署との協議の結果、消防設備不良箇所の改修に時間を要したことで遅れており、5月下旬になりそうだ。空調設備は指定管理者と詳細に現場を確認したうえで協議を進めている。



▲リニューアルオープンするピュアランド山の里

問 宴会場は2階ではなく、3階にするのか。

答 3階和室は本来宿泊用だが、個室の食事用とする。

当委員会では、有機農業の推進のため、農林振興課との意見交換会を実施した。

①委員会から愛知県東郷町での視察研修で得たことを報告(「議会だより」No.132参照)

- (農林振興課からの質問) 学校給食に納入する場合の残留農薬検査はするのか。
⇒農家を信頼して実施していないとのことであった。

②意見交換

- 有機農業推進のため、専任の職員を付けてはどうか。
⇒県の普及員(専門家)には相談している。有機農業指導員研修中の職員あり。
- 現状の支援施策を知りたい。
⇒有機JAS認証補助(新規10万円、継続5万円×2人)、給食食材費の上乗せ補助、加工品開発(ピーツ)補助、伴走支援(国の制度活用や県申請の事務や交渉)
- 有機農の畑の見学希望があるが、畑泥棒が出たケースがあるので実施は難しい。
- 栽培や販売のノウハウの共有のため、有機農協議会で「有機米栽培マニュアル」を作った。
- 今年度で国の補助事業が終了する。来年度以降も継続する場合は予算が必要となる。

③委員会として、有機農業の推進のため担当課と情報を共有しながら協力していく事を確認した。

当選議

10

いぐち
井口まさのり (52歳)
無所属・現職・当選回数 6 回



キャッチフレーズ・座右の銘
流れる水は腐らず

17年間の政治活動において、多くの政治家との信頼関係を構築しましたが、これに満足することなく国・県とのパイプで上郡町発展、活性化のため、「一意専心」を基本とし、常に学び、行動し、議論を尽くしてまいります。

9

たぶちひろ
田淵千洋 (69歳)
公明党・現職・当選回数 5 回



キャッチフレーズ・座右の銘
女性パワーで活力ある上郡町を!!

これからも、皆さまの小さな声に寄り添い、安心して子育てできる環境の整備、高齢者が住み慣れた地域で、健康で安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

6

さわだまさはる
澤田正治 (77歳)
無所属・現職・当選回数 2 回



キャッチフレーズ・座右の銘
言葉でなく、行動で語る

住民参画の必要性を実感しています。地域の活性化をみんなで協力して成しとげましょう。これからの4年間は誰の意見にも素直に耳を傾け、大所高所から判断し、取り組んでまいります。
“産廃処分場建設計画断固阻止”

5

さのひろかず
佐野廣一 (75歳)
無所属・現職・当選回数 2 回



キャッチフレーズ・座右の銘
浅学・非才なれど
実直・行動・熱意に徹す

2期目は、1期目のやり残しの産廃最終処分場建設問題やツリ山問題に積極的に取り組むのは勿論、上郡町では40%以上にもなっている高齢者の一層の健康福祉問題に取り組む。

3

よねだひろき
米田浩樹 (63歳)
日本共産党・現職・当選回数 2 回



キャッチフレーズ・座右の銘
「成功の反対」は…、挑戦しないこと!

町民の皆様の声を聞き、法令や国・県の施策、財政状況などを研究し、町に対し実現可能な政策提言を行う議会になりたいと思います。また、一致点で行動する議会になりたいと思います。産廃阻止のアクションは必須です。

2

いのうえ
井上としひろ (67歳)
無所属・新人・当選回数 1 回



キャッチフレーズ・座右の銘
産廃絶対阻止!と町政監視!

清流千種川が貫流し、商業施設が街の中心に有り、下水道が完備した住みやすいコンパクトな町上郡町を永遠に存続させる為に、まずは産廃阻止!並行して町外、県外の方が上郡町に足を運んでもらえる事業をしたい。

員 紹 介

任期は

令和7年7月21日

～令和11年7月20日

8

たちばなてるひろ

立花照弘 (72歳)

無所属・現職・当選回数4回

キャッチフレーズ・座右の銘

初心忘れるべからず



4期目の当選に更なる責任を感じています。「初心忘れるべからず」をモットーに頑張ってきましたが今期も同様です。財政・少子高齢化・インフラ整備・教育問題等上郡町の課題は山積です。上郡町の未来に向けて再挑戦します。

7

きむらきみお

木村公男 (72歳)

無所属・現職・当選回数4回

キャッチフレーズ・座右の銘

「吾唯足知」



これまでの経験を活かし、豊かな自然と環境を、そして伝統を守り、子ども達や高齢者が心に刻む「ふるさと」となるような地域づくりや、助け合いの街づくりのために皆様の声を反映してまいります。

4

かわい まさひと

河井正人 (75歳)

無所属・現職・当選回数2回

キャッチフレーズ・座右の銘

我、事において後悔せず



産廃阻止のために議員になりました。現在、業者はまだあきらめていません。引き続き撤退するまで頑張ります。とまどいのあった1期目の議員生活でしたが、この経験を活かし、2期目はパワーアップして挑戦します。

- 議席の順番は、当選回数の少ない議員から①番とし、当選回数が同一のときは経験年数、生年月日の順に従い定めます。(年齢は令和7年7月21日現在)
- 議長選出後は、⑧番が議長席となり、それ以外の席は順番にずれます。
- 本レイアウトは議長席から議員席に向かっての配席図です。

1

やながわ たかひろ

柳川貴洋 (31歳)

無所属・新人・当選回数1回

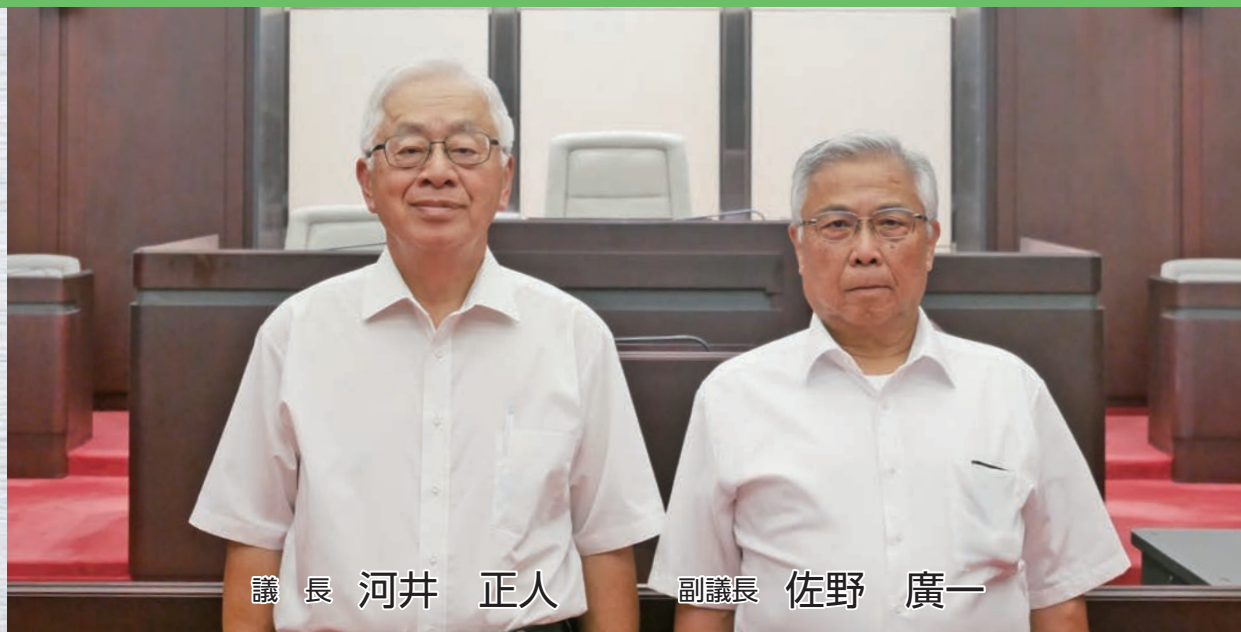
キャッチフレーズ・座右の銘

実るほど頭を垂れる稲穂かな



上郡町が抱える様々な課題について、町民の皆様と力を合わせて1つ1つ解決していき、上郡町を40年50年先も続くまちにしていくことを目指して、これから真摯に謙虚に議員活動に取り組んでまいります。

新しい議会構成が決まりました



議長 河井 正人

副議長 佐野 廣一

正・副議長 あいさつ

町民の皆様方には、町議会に対して、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。私たちは先の臨時議会において議長・副議長に就任いたしました。議決機関である議会の長の責任は重大であり身の引き締まる思いです。

さて、本町は依然として厳しい財政状況の中で、人口減少、少子高齢化などに対応した、医療・福祉・教育の充実等課題は山積しております。私たち議会は、多様化する住民ニーズを的確に把握し、行政とも連携して参ります。二元代表制のもと議会は行政に対する監視機能をしっかりと果たすことはもちろんのこと、行政に対し政策等を提案する機能も大切です。

活力と魅力にあふれ、安全で住みやすい町づくりを進めていくことが、町民の皆様の一致した願いであることを認識し、その負託に応えるため、議員間の議論を深めていきます。

今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

議長 河井 正人 副議長 佐野 廣一

委員会名	委員長	副委員長	委員
総務文教常任委員会	井口まさのり	柳川貴洋	木村公男 田淵千洋 河井正人
民生建設常任委員会	米田浩樹	澤田正治	井上としひろ 立花照弘 佐野廣一
議会運営委員会	田淵千洋	井口まさのり	澤田正治 木村公男 立花照弘 佐野廣一
広報特別委員会	米田浩樹	柳川貴洋	木村公男 佐野廣一
播磨高原広域事務組合議会議員	澤田正治 木村公男	立花照弘	田淵千洋 河井正人
安室ダム水道用水供給企業団議会議員	井口まさのり	河井正人	
にしはりま環境事務組合議会議員	柳川貴洋	河井正人	
監査委員	木村公男		

委員会には常任委員会と特別委員会、それに議会運営委員会があります。

常任委員会による議案等の詳細かつ専門的な調査、審査を行うことにより多数の議案を能率的に処理しています。

特別委員会は特定の問題が生じたときに組織され、その審査が終了すれば解散になります。

議会運営委員会は議会の運営を円滑に進めるための常設の委員会です。



総務文教常任委員会

委員長 井口まさのり

当委員会は企画広報課・財政管理課・総務課・税務課・会計課・教育委員会の所管に関する調査・審議します。

財政健全化・人口減少問題・デジタル化による行財政改革・教育の充実等の諸問題に対して、行政のチェック機能を果たしつつ必要な政策提言を行います。

公平公正な委員会運営及び委員会機能が十分発揮できるよう取り組みます。



民生建設常任委員会

委員長 米田浩樹

当委員会は、住民課・健康福祉課・国保介護支援課・地域振興課・農林振興課・建設課・上下水道課の所管に関する調査・審議します。

防災・健康医療・福祉の充実・商工農業の振興・ライフライン等生活基盤の整備などの推進と諸問題の解消に向けて、公平公正な委員会運営及び委員会機能が十分発揮できるよう取り組みます。



議会運営委員会

委員長 田淵千洋

当委員会は、議会を円滑、効率的に運営するため設置されるもので、2つの常任委員会から当選回数が多い議員を選出し6名で構成しています。

議会の運営に関する事項・議会の会議規則や委員会条例等に関する事項・議長の諮問に関する事項について調査、審査を行います。

また、議会の活性化等の各種課題の解決に向けて努力します。



広報特別委員会

委員長 米田浩樹

議会の活動をわかりやすく町民の皆様に発信するため、年4回「議会だよりかみごおり」を編集、発行しています。

手に取って読んでもらえる議会だよりを目指し、さらに工夫を重ね刷新に取り組んで参ります。

また、議会開催の予告や一般質問の映像配信など「議会ホームページ」の管理・運営も担っています。



監査委員

木村公男

監査委員は町の「財政に関する事務の執行」及び「経営に係る事業の管理」などが適法、適正に行われているか、また効果的に行われているかという観点から、地方自治法等に基づいた各種監査や審査等を実施します。

委員はほかに財政・経営・行政運営に優れた見識を有する1名が、町長に任命されています。





モニターの見

3月定例会号をみて (No.133)

兵庫県立上郡高等学校

「議会だより」を拝見して、表紙に町民の活動が取り上げられている点はとても良いと感じました。町民に配布される広報紙として、地域の方々の活躍を紹介することは親しみやすく、関心を持ってもらえるきっかけになると思います。ただ、どのような活動の写真なのか分かりづらい部分もありましたので、表紙の写真がどのような活動の写真なのかにより明確になる工夫があると、より良いと感じました。

記事の内容については、情報が充実していて良かったのですが、文字量が多く、読むのに少し負担を感じました。特に高齢者の方にとってはQRコードの利用が難しく、動画が限定公開である点も課題だと思います。QRコードの使用方法などの説明、写真及び図を増やしたり、文章を箇条書きにするなど、視覚的に分かりやすい構成にすることで、より多くの方に読んでもらえると思います。

また、漫画形式の記事や、地域イベント、食べ物の紹介など、楽しみながら読める内容があると、議会だよりもっと身近な存在になるのではないかと思います。今後、幅広い世代にとって分かりやすく、親しみやすい紙面づくりが進むことを期待しています。



青春の1ページ (写真部生徒撮影)

募集

「議会だより かみごおり」の表紙写真

上郡町議会では、町民の皆様にも議会広報紙がより身近なものとなるよう、議会だよりの表紙写真を募集します。下記の応募要項を確認の上、応募申込書に記入し提出をお願いいたします。

- ① 上郡町内で撮影したもので、自作かつ未発表のもの。
(合成写真、組写真、画像修正したものは除く。撮影は縦が望ましい)
- ② 作品は、800万画素以上のファインダーモードで撮影したもの。
(目安：デジタル画像3.6MBから10MBまで)



▲募集要項・申請書

編集後記

広報委員長として最後の議会だよりです。2年間「手に取って読んでいただける」紙面づくりを心掛け、四苦八苦しました。常任委員会報告や予算審議の書き方の工夫、「追跡～あの質問はこう実現した～」の新設、表紙に子どもを登場などの工夫をしましたが、いかがだったでしょう。

新メンバーでの議会だよりの更なる充実のため、町民の皆様からのご意見をお寄せください。

7月18日最終編集会議にて 米田 浩樹

次の定例会は9月2日 10時から開会予定

本会議は自宅のケーブルテレビ(えんしんネット)でもご覧になれます。



かみごおり議会だより No.134

令和7年8月8日発行

発行／兵庫県上郡町議会
編集／議会広報特別委員会

〒678-1292 兵庫県赤穂郡上郡町大持278番地
☎(0791)52-3512 FAX(0791)52-6650
メールアドレス(議会事務局) gikai@town.kamigori.lg.jp